

市民・学生の皆さんも自由に聴講できます

## 科学のつどい in 山大 (9)

# 大規模野菜農業の光と影 — アブラナ科野菜根こぶ病を例に

講演者 田中秀平さん (山口大学名誉教授)

日時 2015年5月21日 (木) 17:00~18:30

会場 山口大学理学部第3共用セミナー室

理学部1号館北棟1階東側114E

生産コスト削減や需給と価格の安定化を目的とし、野菜の大規模産地化が進められてきました。しかし、連作が進行する中で各種の野菜に様々な「土壌伝染性病害」が多発するようになり、各地で深刻な問題となっています。

大規模野菜農業がもたらす問題を、世界的に問題になっているアブラナ科野菜「根こぶ病」を例に、その病原菌の特性も含め、お話してもらい、野菜農業の在り方を皆で共に考えましょう。

講師紹介 田中さんは長年、農学部で植物の病理に関して教育・研究され、この3月、定年を迎えられました。その間、組合の委員長やJSAの幹事などを歴任されています。

主催 日本科学者会議 (JSA) 山口支部平川分会

共催 山口大学教職員組合

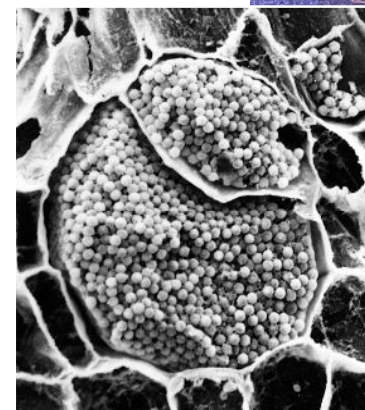
連絡先・お問い合わせ 山口大学教職員組合書記局 (Tel:083-933-5034、

e-mail:fuy-union@ma4.seikyounet.jp)



根こぶ病で萎れた  
ハクサイ

根こぶ病により  
異常肥大したハクサイの根



根こぶ病に罹ったハクサイの根の細胞内に形成された根こぶ病菌休眠胞子 (走査電子顕微鏡写真)